

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	栃木県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	上三川町立上三川小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3	3	3	3	2	20	
児童数	83	105	113	98	86	114	8	607	29

研究の概要

1. 研究主題

基礎・基本の定着を目指した指導の工夫
～主に算数科の授業実践を通して～

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

1～6年生 算数 児童の理解の状況に差が出やすい教科であるため。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 基礎・基本の定着を目指した指導の工夫 ～主に算数科の授業実践を通して～</p> <p>研究の見通し(仮説) 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善を図っていけば、児童は基礎・基本を確実に身に付けることができるであろう。</p> <p>研究の内容・方法 基礎・基本を身に付けるための指導のあり方の工夫 ア 基礎・基本を明確に位置付けた授業の展開 イ 評価規準、評価方法の工夫改善と活用 ウ 朝の学習(朝10タイム)及び読書の時間の設定 エ 家庭との連携・協力のあり方についての工夫</p> <p>個に応じた指導のあり方の工夫 ア 習熟度別・課題別の少人数指導やT.T.など、効果的な学習形態、指導方法の研究 イ 発展的な学習や補充的な学習などの個に応じた指導のための学習教材の工夫改善 ウ 放課後の個別指導の時間(パワーアップタイム)の設定</p>
--------	--

平成16年度	<p>テーマ 基礎・基本の定着を目指した指導の工夫 ～主に算数科の授業実践を通して～</p> <p>研究の見通し 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善を図っていけば、児童は基礎・基本を確実に身に付けることができるであろう。</p> <p>研究の内容・方法 平成15年度の内容をさらに修正しながら実践を深化する。</p>
--------	--

(3) 研究推進体制
研究組織図



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

- ・ 少人数指導により、学習の進度をきめ細かに把握できるので、一人一人の個に応じた指導が可能になった。児童はお互いに仲良く学習を進めることができた。
- ・ 児童向けアンケートの集計結果では、「少人数に分かれたほうがよい」「やや少人数に分かれたほうがよい」という回答は、全体で61%であった。また、「算数は好きですか」の設問には81%の児童が肯定的な回答をしており、「算数の勉強は分かりますか」の設問には89%の児童が「いつも分かる」「だいたい分かる」と回答していた。少人数指導のよさが児童にも分かっているのではないか、また意識の向上が学力の向上につながっているのではないかと考えることができる。
- ・ 保護者向けアンケートの集計結果では、「よいと思う」「どちらかというといよいと思う」という回答が全体で96%となった。その理由としては、「指導が行き届く」「つまづきをなくすることができる」「その子にあったペースで学習できる」「やる気が出たと言っていた」「よくできるようになったので算数を嫌がらなくなった」といった記述がみられた。少人数指導についての保護者の一定の理解を得ることができた。
- ・ 朝の時間を利用して、計算や漢字の繰り返し学習に取り組んだことで、基礎学力の定着を図ることができた。また、学校として学習を系統的に位置付けた教材を整備することができた。
- ・ 放課後の時間を利用しての学習では、体験を通して学ぶことや楽しく学び合うことを重視して進めてきたが、子どもたちは喜んで学習に取り組むことができた。

- ・ 小單元ごとに学習活動と評価規準、学習形態をまとめた一覧を、各学年で作成し活用することができた。

2. 今後の課題

- ・ 習熟度別学習の際に、児童がより適切なコース選択ができるような支援のあり方
- ・ 効果的な学習形態、指導方法について、今年度の結果を生かした指導計画の作成
- ・ 学力の向上をより客観的に把握できる検証方法の研究

学力等把握のための学校としての取組

- ・ 定期的な学力調査の実施
平成15年度 1回(2月)
平成16年度 1回(2月)
- ・ 単元毎のテストの実施

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・ 研修会の実施予定
平成15年度 授業公開 11月実施 学校評議員対象
平成15年度 講演会 3月実施予定 教育事務所管内校対象
平成16年度 授業公開 11月実施予定 教育事務所管内校対象
- ・ 研究成果普及のためのパンフレット及び研究紀要の作成
平成15年度 パンフレットの配付 4・9月配付 保護者対象
研究紀要の作成及び配付 3月配付予定
町内各校及び教育事務所管内フロンティア校対象

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無